



長照寺だより

# わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242  
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: [info@cyoshoji.or.jp](mailto:info@cyoshoji.or.jp)

浄土真宗本願寺派東京教区 静岡東組 公開講座「新たなご縁づくり」  
つゆ まるこ  
露の団姫師 落語「仏教落語」  
講演「落語家・まるこの仏道修行」



門信徒のつどい(静岡東組公開講座)  
令和4年12月11日

「仏法は何度聞いても聞き足りることはない。ご法義は何度も何度も問い尋ねなければならない」

(蓮如聖人御一代記聞書)

# 葬儀って何…。往生って何…。



## 住職 本持愚山

近頃、仏事に関わる言葉の乱れをひどく感じますが如何なものでしょう。

小さなお葬式？大きなお葬式？家族葬、直葬。一体どこから生まれてきたのか知りたいものです。新語、流行語ですか。人間界に於ける最も大切な崇高な行為を愚弄していると言っても言い過ぎではありません。

本来葬儀とは、大切な方が往生（ご逝去）され、お浄土（仏国土）にて仏様とならせて頂き、その仏様から尊いお心を聞かせて頂く場に我が身を置くことにより、生かされて生きて往く意味を知らされるのです。こうした意味を知った今、式場の広さや、荘厳（しょうげん）（祭壇・生花数）に掛ける費用等々は重要事ではありません。百人の参拝者、一人の参拝者でも前述の意味から言えば葬儀は葬儀なのです。この様な考え方を基本に持ち、何時「やがて」を迎えなければならぬか予想はつきませんので「終活」ではなく「宗活」をお勧めします。「宗活」とは読んで字の如く、仏事（葬儀・年回法要・仏式通過儀礼）に関わる事柄はもとより、教えに導かれ生きて往く活動の事です。

次は「往生」ですが、ご高齢で他界されるた場合「大

往生」と世間では言いますが、「成仏」された方に対して失礼千万な言い方、考え方です。「往生」とは往つて生まれる。何に生まれ変わると言えば仏様に生まれ変わる事なのです。では幼くしてこの世界を終えられた子は「小往生」ですか？全くもって心ない言い回しです。故に「往生」には「大小」など決してありませんので言葉使いには注意したいものです。

ここで思いますに、現代社会で宗教に関わる言葉の持つ意味が少しずつ歪められてきている事実は否めません。そんな動きの中の二つが経済的理由によるものが多くにありと考えられますが如何でしょう。

宗教が持つ本来の意味、目的は何であるか原点に帰れば、それは人類が、万民が、国民が、健康で、明るく楽しく地球上の全てが円満である事を望み、そこにはお互いが許し許され合う暮らしをと先達は築いてきました。

従いまして、姿や型ではなく「心」を大切にし貪りや怒りを遠ざけ日々の歴史を積んできたのです。仏教的に言えば、ご先祖様方を敬い世の中の意味不明な言葉に惑わされず経済原理から少し離れ、これからは「心」を取り戻す日暮らしでありたいものです。

先日K氏の年回法要をお勤めする中で大変心暖かな思いを致しました。それはお勤めの後に、ご遺族になられた皆様で追悼の意を込めハーモニカ演奏を行い、ご先祖様方へ仲間入りされた方は娑婆世界に住む私達と「いつも一緒だよ」と感じられるご法要でした。

仏事に身を置くとは斯くあるべき事と尊いご縁を頂きました。 合掌





## 活動報告 令和四年度下期

### 第五十二回門信徒会親睦ゴルフコンペ

令和四年十一月十六日  
 …大熱海国際ゴルフクラブ

優勝 鎌野 善章 さん  
 準優勝 鄭 和彦 さん  
 第三位 木下 春雄 さん

今回のゴルフコンペでは、なんとホールインワン(鄭和彦さん)およびエイジシユート(東廻茂さん)が達成されました。



## 報恩講

令和四年十一月二十日

ご講師「東森 尚人師(東京教区教務所長)」  
 浄土真宗の門信徒として最も大切な「法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきました。



## 境内清掃作業

令和四年十二月三日

新しい年を迎えるにあたり、感謝・感謝。



## 門信徒のつどい(静岡東組公開講座)

令和四年十二月十一日

…コミュニケーションがはずみ

ご講師 「露の団 姫(つゆのまるこ)師」

※写真は表紙に掲載

## 除夜会

令和四年十二月三十一日

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これからは少しずつ出していきましょう。



## 修正会

令和五年一月四日

心新たに出発。今年こそはと毎年思っている自分がいた。



## 春季彼岸会法要

令和五年三月二十一日

ご講師「本持 愚山 住職」  
 ご講師「本持 信宗 副住職」



## 恵みのお参り

・七五三のお参り 令和四年十一月二十三日

藤澤 莉央(りの)さん

・成人の報告 令和五年一月八日

杉本 美羽(みう)さん

・祝入園 令和五年三月五日

鈴木 さくら さん

・祝入学 令和五年三月五日

鈴木 玲依(れい)さん

※写真は4ページに掲載

# 今後の活動予定

2023年(令和5年)

4月15日(土)	釋尊降誕・花まつり	本堂
5月 7日(日)	門信徒会定期総会	本堂
5月15日～16日	門信徒会親睦研修旅行 (親鸞聖人御誕生850年・ 立教開宗800年慶讃法要参拝)	西本願寺(京都)
5月30日(火)	静岡東組組会・総代研修会	善教寺(三島市)
6月 5日(月)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	未定
7月23日(日)	境内清掃作業	境内
8月 1日(火)	お寺のオンライン学校 (南ブロック門徒子弟研修会)	オンライン
8月13日～15日	合同盆法要(全8回)	本堂
9月23日(土)	秋季彼岸会法要	本堂
10月15日(日)	寺報(第50号)発行	本堂

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。  
 ※定例法座は毎月第3土曜日 午後1時より本堂にて開催。  
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

〔日頃の忙しさから解放されて  
 気持ち軽くなる自分を発見  
 できるかもしれません。〕



藤澤 莉央(りの)さん(七五三)



杉本 美羽(みう)さん(成人の報告)



鈴木 さくら さん(入園)  
 鈴木 玲依(れい)さん(入学)

編  
 集  
 後  
 記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、2023年10月発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで

〒411-0044三島市徳倉1195-817 TEL・FAX 055-988-3900

編集人=菊沢・斎藤・園田・杉山